

## 平成 28 年度 学校評価(自己評価)

朝陽幼稚園

### 1. 教育基本方針

「強く 正しく 伸び伸びと」をモットーに、  
園児を中心として、保護者の皆様、教職員全員が笑顔で関わりを深めます。この関わり合いの中で、園児の心の中に自信に溢れた成長意欲を導き出します。

### 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ① 心身ともに健康で基本的生活習慣を身につける
- ② 一人一人の個性を大切にし、人間性豊かな想像力を育てる
- ③ 正しいことは勇気をもってやりぬく実行力を育てる
- ④ 思いやりをもってだれとでもなかよく遊べるように育てる
- ⑤ 社会に貢献する人格の形成をめざす

### 3. 評価項目の達成及び今後の課題

評価項目	目標	目標設定理由	評価	自己評価	次年度の改善
課内教室の充実	園児の基礎体力向上	心と身体の健康を保つ	A	課内教室「体育指導」を通して十分に体を動かす機会が増えてきている。	継続して実施する。
想像力の醸成	生活や活動を通じて感受性を高める	絵画・音楽を通して、想像力を育てたい。	A	作品展では全園児で「不思議の国のアリス」の部屋を作り、想像力と共に協調性を養うことができた。	表現領域の研修会へ、教員を積極的に参加させ、新しい教材研究のためのスキルアップを図る。 音楽鑑賞会、演奏会など情操教育を継続して実施する
コミュニケーション能力の育成	英会話に慣れるためにネイティブ講師と遊ぶ	英語に対する抵抗感を無くし、歌、遊戯を通じて英語でのコミュニケーション能力を高める	A	「英語で遊ぼう」「セイハで遊ぼう」の2つの課内授業を園児が楽しみにしていることが分かる	英語教師との触れ合う回数、時間を増やし、習うのではなく慣れることに主眼をおく。
安全管理	園児の安全を守る教育・施設設備の充実	園内外で園児が安心・安全な園生活や園活動が取り組める。	B	教職員で施設設備の点検を行い、安全な器具・設備であるかを確認出来た。	平成29年度に外壁劣化に対する補修工事を実施する。
教職員の資質向上	コミュニケーション向上	園児への気付き事項、教職員相	B	園児の状況、健康状態について毎日の朝礼、終礼で情報共有を行っている。	教員の入れ替わりがある中でも、均一の保育技術を維持できるようマニュアル、引

		互の気付き事項 を情報連携する			継ぎ書を整備する
保護者と の一体教 育	保護者ニー ズへの対 応・卒園生 への支援・ 広報活動の 充実	保護者に園の教 育活動について の理解を深める。	A	お誕生会・図書貸出など、 保護者の教育力の協力を 得て園行事が充実し、保護 者との協働感がうまれている。	保護者参加の行事を充実 すると共に、保護者が来園 する機会を捉えて、園児の 活動を報告できるようにす る。

※評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

### 3. 総合的な評価結果

評価	自己評価	次年度の改善
B	教員の入れ替わりがあったが、保育内容、保育技術 等の基本的事項の質を維持することができた。 平成 28 年度より開設した、満 3 才児対象の「ひよ こぐみ」と未就園児対象の園庭開放「にこにこ ランド」は好評であった。	沢山の園児に来て頂くために、当園の特色であ る自然との触れ合い、伝統的建物である「朝陽 館」をお借りした行事を行い、他園では経験で きない教育を行ってゆく。

※評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

### 4. 学校関係者評価

学校関係者評価委員会の方々には、保育参観、運動会、生活発表会など、いろいろな保育場面を見て頂くようにしており、それを大切な評価観点とするようにしています。委員会では、朝陽幼稚園が大切にしている評価項目・取り組みが十分に達成されていることを確認させて頂きました。

朝陽幼稚園の特色である、隣接する自然環境の中で昆虫、小動植物と触れ合うこと、また、朝陽館をお借りして行う豆まきなどで、情操教育にも役立っているものと思います。

#### 【学校関係者評価委員会構成】

評価委員長:朝陽幼稚園保護者会会長

評価委員 :保護者会役員 5名

以 上